

平成29年度 公開講座 (短期課程)

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	ものづくりカイゼンセミナー(1)品質管理 ～データの見方、QC七つ道具の使い方、実験計画法の活用～
実施日時	① 平成29年5月10日(水) 18:00～21:00 ② 平成29年5月17日(水) 18:00～21:00 ③ 平成29年5月24日(水) 18:00～21:00 ④ 平成29年5月31日(水) 18:00～21:00 ⑤ 平成29年6月7日(水) 18:00～21:00 (計15時間)
募集定員	6人(申込者多数の場合、最大12名程度まで)
募 集 対 象	対象職種：不問(講座名はものづくりカイゼンとなっておりますが、事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能) 受講に必要なレベル：不問(受講生の状況・希望に応じて内容を調整)
注 意 点	ものづくりカイゼンセミナー(1)～(6)は企業などとの連携を通じて実際に現場カイゼンに取り組む同一講師が全て担当しています。講座(1)～(6)の全てを受講することで、ものづくりカイゼンに必要な知識を体系的に修得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」とも一部連携しています。現場の課題解決に具体的に取組みたい方は専攻科の活用もご検討ください。
講 座 内 容	生産性・品質・安全性を向上するためには、現場から管理者まで様々なレベルにわたる人員の生産管理への理解、カイゼン手法の習得、ものづくりに対する意識の変革が必要となります。本講座は、はじめて品質管理を学ばれる方、これから品質管理業務にたずさわる方、現在たずさわっている方を対象にQC七つ道具などの品質管理手法について学ぶだけでなく、現場からどのようにデータを採り、それをどのように活用するかまでについて学びます。また、受講生の方と講師だけでなく、受講生同士の対話を通して現場で発生している問題や課題等への対処方法についても具体的な検討を行います。
目 標	現場において品質管理の手法を活用し、品質カイゼンに取り組む事ができる。 品質管理手法の使い方について現場で作業員に対して教える事ができる。
履 修 項 目	①生産とは、品質管理の視点から考える ②品質検査、品質管理、品質保証の違い ③データのとり方・見方、平均とバラツキ ④QC七つ道具(層別、ヒストグラム、管理図) ⑤新QC七つ道具 ⑥平均値の差の検定 ⑦実験計画法 ⑧現場での活用方法(事例紹介)

使用装置 ソフト・ 図書等	特になし					
受講 費用	受講料：6,900円（15時間コース）					
	自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）					
講座費用	報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業の方の申し込みが多いため、講座名を「ものづくりカイゼン」と改めた。 ・ 例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を記載した。 ・ 注意点において、ものづくりカイゼンセミナーの受講方法や受講生の受講例、産業技術専攻科の広報を目的にこのセミナーとの連携について記載した。 ・ 新QC七つ道具の内容を加えた。 ・ ものづくりカイゼンセミナーの(1)品質管理、(2)生産管理Ⅰ、(4)生産管理Ⅱの3つのうち、2つ以上を受講することで、機械システム系の生産工学、知能電子システム科の生産工学概論の講義への出席を免除する。但し、試験やレポートの提出を求める場合がある。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「統計・品質管理」の受講を一部免除する。 					